

東京大学柏キャンパス総合研究棟のシンドラ(株)製エレベーター事故の発生について

1. 発生日時

平成22年11月11日(木)午後2時45分頃

2. 発生場所

東京大学柏キャンパス(千葉県柏市)総合研究棟エレベーター10号機
(人荷用、定格1,250kg(定員19人))

3. 発生概要

- ①本学学生17名が柏キャンパス総合研究棟のエレベーターを利用するため、1階から乗車したところ扉が開いたままエレベーターがゆっくり降下をはじめた。
なお、重量制限ブザーは鳴動しなかった。
- ②エレベーターの扉が閉まりかけたところで2名が1階ホールに脱出したが、その内の1名が膝を打撲した。
- ③その後、エレベーターは15名ほどが乗車した状態のまま地下1階まで一旦下降したが、何ら操作を行わない状態のまま自動的に1階まで上昇し、非常ボタンを押しコールセンターと連絡が繋がると同時に、扉が開き外に出ることが可能となった。
- ④その他の被害についての報告はありません。

4. 原因

事故発生直後に本学職員立会の下、製造元及び保守点検業者であるシンドラエレベーター(株)社員が、現場エレベーターの状況を確認した結果、ブレーキワイヤーの納まりが悪く、ワイヤーの動きに抵抗がありブレーキが正規に作動しなかったことが原因と推測されています。

5. 今後の対応

安全確認が行われるまでの間、東京大学内における全て(柏キャンパス14台、生産技術研究所2台)のシンドラエレベーター(株)製のエレベーターについて運転を停止いたします。

本学内において、「臨時昇降機調査委員会(リーダー:中埜良昭生産技術研究所副所長)」を発足し、全てのシンドラエレベーター(株)製のエレベーターについて点検調査を行うこととしています。

なお、関係の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(問合せ先)

本部総務課長 内線XXXXX

本部保全課長 内線XXXXX